

日本学術会議フューチャー・アースの推進と連携に関する委員会
持続可能な発展のための教育と人材育成の推進分科会
ESD/SDGs カリキュラム小委員会（第 25 期第 2 回）小委員会 議事要旨

日 時：2021 年 8 月 31 日 15：00～16：30 オンライン会議

出席者：小金澤孝昭、市瀬智紀、及川幸彦、小林亮、鈴木克徳、氷見山幸夫、小田宏信、
薦田有紀子（事務局）、小山堯（事務局）、藤井智宏（事務局）

0. 会議の冒頭に出席委員間の情報交換がなされた。

氷見山委員：6月にフューチャー・アースとベルモントフォーラムが中心となってオーストラリアのブリスベンを主会場に主にオンラインで開催した Sustainability Research & Innovation Congress 2021 は 100 を超えるセッションが開設され、6000 名以上の実に多様な立場、年齢、地域の人々が参加した。児童生徒が議論に積極的に参加するセッションも見られるなど、持続性教育の観点からも画期的なものであった。

鈴木委員：気候変動問題への教育界、とくに学校教育への対応について言及を深めていく必要性も痛感している。COP15 は事実上来年に延びたが、生物多様性に関する教育界の取り組みも強化する必要があると感じている。

小林委員：①文部科学省により、次世代国内ユネスコ委員会のメンバーが募集されている。②教育の未来についてユースの目で考えていく、ユネスコ本部による ASPnet Global Student Forum（ユネスコスクール・グローバル学生フォーラム）が 12 月 7 日～9 日に計画されている。

小田委員：第 2 回ユネスコスクール関東ブロック大会が 8 月 7 日に開催され、ほぼ全面オンラインとなったが盛況であった。

市瀬委員：気候変動とユースといったことに世界的にシフトしている感じがある。文科省からは「気候変動問題をはじめとした地球環境問題に関する教育の充実について」という通知がなされた。ユネスコの関係では、ユースユネスコ気候アクションネットワーク（You-CAN）といった世界的イニシアティブが登場している。

小金澤委員長：ESD/ユネスコスクール・東北コンソーシアムの学び合いセミナー（7 月 31 日）で、ホールスクールでの取り組みと評価の問題を扱った。

1. 第 1 回議事要旨が承認された。

2. 追加の小委員会委員候補の推薦案

- ・追加の小委員は、9 月 30 日の幹事会で承認され、10 月 28 日に発令される。9 月 13 日（月）正午までに、推薦候補の氏名・所属を書式に明記して提出する。
- ・現在すでに了解済みの 2 氏のほか、複数名の候補が出され、当該候補者に順次依頼していくこととなった。

3. 9 月～11 月にかけての小委員会研究会（勉強会）の日程

12 月に親分科会で公開シンポジウムを実施することを前提に、小委員会では同シンポで発表する内容で報告いただく。

シンポジウムについては 12 月 18、19 日もしくは 12 月 11 日を本小委員会として希望し、小委員会の開催は 10 月 24 日、11 月 20、21 日を候補日とすることが了承された。

4. 研究会で報告いただく講師について＋内容

以下の案が了承された。

新規小委員から、4～5名ほど、20分程度の報告をお願いする。報告内容は、各自が現在取り組んでいるESD及びSDGs実践。

5. オブザーバー参加者の推薦

前小委員会の構成員を中心にお誘いしていくことが了承された。

6. その他

9月12日分科会における春日文字子委員の講演について案内があった。

7. 次回の日程 上記3の通りの候補日とする。